

【樹木の部屋】

シラカンバ（カバノキ科カバノキ属 *Betula platyphylla*）

和名：シラカンバ、シラカバ **別名**：

英名：White Birch, Japanese White Birch

ブナ目 落葉高木

原産地：シベリア、朝鮮半島、日本

花言葉：光と豊富、柔和、忍耐強さ、あなたをお待ちします

花の色：



← 写真-1 シラカンバの樹形

撮影日：2014年06月22日

撮影場所：タルキートナ(アラアスカ)にて

撮影者：M さん



←↑ 写真-2、3 シラカンバの幹と葉

撮影日：2014年06月24日

撮影場所：フェアバンクス

(アラアスカ)にて

撮影者：M さん





← 写真-4 シラカンバの森

撮影日：2014年06月24日

撮影場所：フェアバンクス(アラアスカ)にて

撮影者：M さん

樹皮が白いことからこの名があり、近縁種としてダケカンバがあります。花期は春。雌雄同株で、5cm ほどの雄花は長枝の先から尾状に垂れ下がり、雌花は短枝に 4cm ほどの花穂をつけます。

寒冷地では、よく目にする樹木。勿論、日本の北海道や信州でも。アラスカでは、ほとんどの場所で見かけました。

材質が堅く、木目も美しいので家具材や、家屋の内装に使われ、樹皮は容易に燃えるため、天然の着火剤としても使われます。カナダのイエローナイフで、犬ゾリ体験に参加した際、インストラクターの方が、シラカンバの樹皮を、着火材として利用できると、実演してくれた事を、思い出しました。

意外なところでは、アイスの棒(スプーン)や、割り箸、楊枝と云ったものも製造されているそうです。日本の園芸店などで販売されているシラカンバは、同属他種(学名:B. utilis var. jacquemontii: シラカバ・ジャクモンティ等)のことが多いそうです。



← 写真-5 ヨーロッパシラカンバの樹姿

撮影日：2014年06月21日

撮影場所：アンカレッジ(アラアスカ)にて

撮影者：M さん

アンカレッジ市内で見かけた街路樹です。シラカンバと思いましたが、枝垂れているので？初めて目にした樹木(樹種)でした。帰国後、調べてみると、ヨーロッパシラカンバ。枝垂れカンバでした。北海道でも見られるそうです。



← 写真-6 ヨーロッパシラカンバの葉と蕾
撮影日：2014 年 06 月 21 日
撮影場所：アンカレッジ(アラアスカ)にて
撮影者：M さん

ヨーロッパシラカンバ(Betula pendula)

別名：シダレカンバ

英名：European Silver Birch、
European White Birch

原産地：ヨーロッパ

落葉高木

特徴：高さ 30 m ほどにも・・・。枝は垂れ、葉は先の尖った 3 角形で 2 重鋸歯、無毛です

<ちょっと一言>

シラカンバとダケカンバは、葉脈の数で見分けられます。

・シラカンバは 7 対、ダケカンバは 11 対